

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指して ～教科指導における観点別評価を踏まえたPDCAサイクルと授業実践～

北海道真駒内養護学校 研究部

1 目的

(1)教えるべき学習内容の整理

(2)授業改善システムの構築

(3)目標・内容や評価規準の立案に関わる理解の促進

2 内容・方法

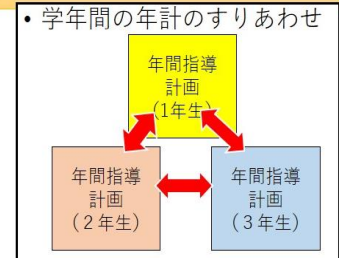
年間指導計画の改善・充実

単元指導計画の検討・整理

研究授業による検証

令和元年度・2年度

①各教科で取り扱う内容の整理→年計の改善・充実



②授業改善システムの整理→単元指導計画の改善・充実

③授業実践による検証

授業作りの5つの視点

令和3年度 1 目的

課題

観点別評価を踏まえた
目標や評価規準の
たてかた

単元指導計画	
学年	知小・国語・1・2
単元・題材名	「聞くこと・話すこと」
指導時期	10月～11月
指導コマ数	5コマ
教科名	知小・国語・1・2
内容	聞くこと・話すこと

運用しながらの改善・充実

グループでの協議

書式の一部改良

・研究授業の実施



自立活動を主とする
教育課程の児童
生徒の年間指導計
画の様式を作成

・手引き
・各教科の見本 など

2 内容・方法

外部講師による全校研修

作成の手引きなどの整理

単元指導計画

単元指導計画

学習名(教科名)	国語	学級	中学	部	学年	3	年
グループ/教育課程	知小・国語	10～11	月	指導コマ数	5	コマ	
単元・題材名	「聞くこと・話すこと」	学習指導要領との関連	教科名	知小・国語・1・2	段階	内容	聞くこと・話すこと
育てたい力「生きる力の五要素」※重視する力を網かけ							
きめる力	見る・聞く・感じる力	伝える力	つながる力	やる気・元気			

活動内容が同じならば、学習グループごとで複数の段階で書いても良い。

●単元のねらい及び評価規準

段階ごとに線で区切って作成する。

単元(題材)のねらい	
観点	段階
知識及び技能	知小・国語・1段階
思考力、判断力、表現力	知小・国語・2段階
学びに向かう力、人間性等	知小・国語・1段階
知識及び技能	知小・国語・2段階
思考・判断・表現	知小・国語・1段階
主体的に学習に取り組む態度	知小・国語・2段階

●単元の構成及び評価の計画

○：指導の重点及び評価の観点

次	日 時	おもな指導内容	知	思	主
1～2	10月 7日 10月 8日 10:40～11:30				

※ 段階ごとに指導内容が違う場合は、
別紙で作成する。

3 結果と考察

成果 今後

各教科で指導すべき内容の整理

小中→高のつながり
段階ごとの内容

授業改善に関する日常的な
PDCAサイクルの流れ

観点別評価を踏まえた目標
や評価規準の立て方の整理

実践を通しながら
さらなる改善・充実

＜個別の評価＞・・・(別紙に記入)

●授業評価

＜授業作りの5つの視点＞

授業評価の視点	内容	評価	課題と改善策
物理的・環境支援・補助的・手段・人的支援	段階ごとに異なる場合は、その旨を文章で表記。	◎良い ○おおむね良い △指導改善を要する	段階ごとに異なる場合は、その旨を文章で表記。
学習機会	段階ごとではなく、全体としての評価。		
多様な評価			
次年度に向けて	単元・題材	よい ・ 変更が必要	時数

●児童生徒の学習評価

＜個別の評価＞・・・(別紙に記入)

変更が必要に○がついた場合は、その理由を課題と改善策に記入する。

○学部○ (Ⅱ) 教育課程		◎十分達成している ○おおむね達成している	
単元・題材名	単元の評価規準	生徒 A	生徒 B
知		個別の有効な手立て・配慮事項	個別の有効な手立て・配慮事項
思		単元中もしくは単元後に	△:「ねらいに到達しなかったので改善が必要」 ※単元後の評価で△になることはない。
主		授業前に作成、単元計画から転記、 単元後に記載 ◎もしくは○、 個別の有効な手立て・配慮事項を記載	